

選抜区分： 総合型選抜(専願型・併願型)・特別選抜(社会人)第2期

科目： 小論文

学部： 看護学部

【設問1】

就職先を選んだ理由は「仕事のやりがい」が全体で35.2%と最も多く、次いで「会社の安定」が34.5%と多い。これらは男女ともに高い値となっている。男女で差が大きかったのは「福利厚生」、「勤務地」であり、いずれも女性が高い値を示し、差はそれぞれ13.6ポイント、10.8ポイントであった。他に、女性が男性より高い値を示したのは「女性を積極的に登用しているから」、「残業や休暇について」である。男性が女性より高い値を示したのは「会社のネームバリュー」、「会社の成長性」、「給与水準」で、差はそれぞれ8.8ポイント、7.5ポイント、5.4ポイントである。男女差が少ないのは「社風」、「身につけたい技術・知識があった」である。

【設問2】

図1から「仕事のやりがい」と「会社の安定」が男女ともに高値であった。併せて「給与水準」が低値であることを考慮すると、経済的な条件よりも自分の能力を發揮できる職場にやりがいを求めているとみることができる。その一方で、「会社の安定」を望む人が多いことは、経済環境の不確実性から、将来にわたって勤務できることを見通せる安定性を望んでいるといえる。

次に私にとって働くことの意味を述べる。看護師の業務は、日々医学に関する知識の拡大とスキルの習得、患者様と関わる経験の蓄積から自己成長が得られる職業である。日々の業務には瞬時の判断や挑戦的なタスクに取り組むことが求められる。挑戦的なタスクに取り組むことで、自分の限界を拡張し、潜在能力が引き出される。異なる意見を持つ看護師や他職種同僚との協働はコミュニケーション能力や多様性への理解を深めることとなり、結果として自己成長に繋がると考えている。私は就職先の選択にあたって、自己成長が得られる就職先を選びたい。多くの困難を伴うと予想されるが、そのような職場に看護師としてチャレンジする結果として、自分の人生をより充実したものにできると考えている。